

乳用育成牛（初妊牛）を譲渡

当センターで生産した雌子牛は、試験研究に供するとともに、受精卵を採取し、府内酪農家に供給しています。

今年度は、性判別精液の利用などで、後継牛が十分確保できたことから、酪農家の経営向上対策として、7月27日に9月分娩予定の初妊牛2頭をJAを通じて譲渡しました。

酪農家からは「今後も能力の高い牛の譲渡をお願いしたい」と初妊牛譲渡の継続要請もあり、引き続き能力を十分発揮する飼養管理技術の研究とともに、牛群検定を活用した選抜で、生産者に喜ばれる高能力牛群の作出に努めます。



譲渡牛を評価する関係